

社会福祉法人 はるかぜ福祉会

はるかぜ通信

No.70

ナイスショット!!

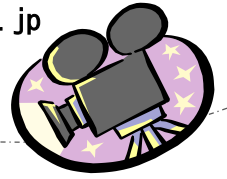
編集・発行 障害福祉サービス事業所 はるかぜ

発行日 平成28年6月1日

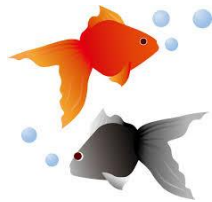
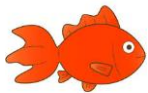
〒816-0849 福岡県春日市星見ヶ丘一丁目8番地

TEL : 092-595-3179 FAX:092-595-3174

E-mail : info@swc-harukaze.or.jp



しんねんと たの 新年度 楽しくスタートいたしました！



へいせい 28 ねん ど あたら じぎょう じりつくんれん せいかつくんれん くわ りょうしゃ かた にんずう ふ
平成28年度は、新しい事業「自立訓練（生活訓練）事業」が加わり、利用者の方の人数も増え、
ますます賑やかな はるかぜになりました。

かつどう しゅうろうけいぞくしえんBがた せいかつかいご じりつくんれんじぎょう じぎょう
レクリエーションの活動も、就労継続支援B型・生活介護・自立訓練事業とそれぞれの事業ごとに、
りょうしゃ かたがた あ じっしび ないよう かんが
利用者の方々のニーズに合わせて、実施日や内容を考えておこなっています。

こんねんどうさいしょ おこな せいかつかいご みな がつ にち げつ りょう はかた
今年度最初にレクリエーションを行ったのは、生活介護の皆さんで、5月9日（月）JRを利用して博多
かいさい てん で くるま しょう かた
で開催の「アートアクアリウム展～泳ぐ宝石（金魚）～」に出かけました。中には車いすを使用される方
えき か しょういん いっしょ たいけん しゅうろう みな よくしゅう げつようび
もあり、駅などのバリアフリー化を職員も一緒に体験できました。就労Bの皆さんもその翌週の月曜日
おなじばしょで きつぷ か かた こうきょう ば しょうじ とき など まなぶきかい
に、同じ場所に出かけ、切符の買い方、公共の場でのマナーや食事の時のマナー等を学ぶ機会にもなり
はじ ところま じりつくんれん みな がつ にち げつ
ました。初めてのレクリエーションをとっても心待ちにしていた自立訓練の皆さんは、5月30日（月）に
ふくおかこう けんがく で みやげ ちゅうしょく じぶん えら みせ ひと つた
福岡空港の見学に出かけました。お土産や昼食を「自分で選びお店の人に伝える」ことができました。

活動報告 その1

かし さぎょうば お菓子の作業場をリフォームしました

はるかぜ旧館の中にあった事務所が、新館2階に引っ越しをしたため空き部屋になっていました。

ちょうど、事務所スペースの隣が菓子づくりのスペースでしたので、壁を抜いて、菓子づくりスペースを拡張しリフォームいたしました。

以前は、ドアを閉めると作業の様子が見ることができなかったのですが、リフォーム後は事務所スペース側の窓から、利用者さんの様子も、作業の様子も見ることができます。

また、人と人が擦りあうように動いていた狭い空間から解放され、とても動きやすく、ゆとりを持って作業をおこなうことができるようになりました。



「地区便 頑張る！」



東コース

平成25年度から春日市の委託を受けて始まった「特定信書便(地区便)」配達業務ですが、毎週火曜日と金曜日の週2回利用者の方3名と職員1名で2コースに分かれて、春日市各自治会の公民館に「地区便」を配達しています。ブルーのジャンパーをユニフォームにして皆さん毎回張り切って出かけています。自治会の方々に言葉をかけていただくのが何よりの励みとなっています。



西コース

活動報告 その2

新しい軽作業が始まりました

しゅうろうけいぞくしえん日がた ことし がつ あたらしいしつないさぎょう とりく
就労継続支援B型はるかせでは、今年4月から、新しい室内作業に取り組むことになりました。

しこう さぎょう かみぶくろ つく しごと
「紙工」作業です。紙袋を作るお仕事です。

はじめの試みとして、紙袋の折りに合わせて折るところから始めてみました。が、なかなか難しいこともあり、まずは利用者の方が取り組みやすいところから始めよう！ということで、業者の方に折りあがった材料を用意していただきました。

お ふくろ そこ あつがみ い かさ あ ぶぶん のり は あ
① 折りたんである袋の底に厚紙を入れる。② 重ね合わせの部分に、糊をつけ貼り合わせる。

てじゆん ひと かみぶくろ かんせい
この手順で一つの紙袋を完成させます。

かみ ふくろ なか かみ け ちり はい こ ぼう あたま おお
紙の袋の中に髪の毛や塵が入り込まないように、バンダナやネット帽で頭を覆っておこないます。

かみ ひょうめん よご ちゆうい はら みなさんてぶくろ さぎょう
紙の表面も汚れないよう注意を払って、皆さん手袋をはめて作業します。

かみ うえ のり はし てきりょう だ すこしむずか にちにち とく み なか
紙の上を糊のチューブを走らせながら、適量を出していくのは、少し難しいようでしたが、日々の取り組みの中
すこし な ていねい さぎょう
で少しずつ慣れてこられているようです。 ゆっくり、丁寧な作業です。



みなさん ありがとうございます！

ねんど しあわせ きいろ おきゃくさま きいろ
2015年度の「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」では、お客様にたくさんの黄色いレシートをはるかせ
の BOX にご投函していただきました。「イオン大野城店 様」「イオン下大和店 様」よりレシート合計金額の1%に
相当するイオンギフトカードを寄贈していただきました。

りょうしゃ みなさん さぎょうかんきょう せいび たいせつ かつよう
利用者の皆さんの作業環境の整備に大切に活用させていただきます。 ありがとうございます。

ご寄付ありがとうございました！

こうげいしゃ さま ふくおかけてん いくせいかい さま て いくせいかい さま おおくま さま きむら さま
○まりも工芸社 様 ○福岡県手をつなぐ育成会 様 ○手をつなぐ育成会かすが 様 ○大熊 様 ○木村 様

はるかぜ福祉会理事会より

しょうがいしゃそうごうしえんほう 3ねんご みなおし ひと しょうがい ひと こうれいか じゅうどか おやな
障害者総合支援法の3年後の見直しの一つとして、障害のある人たちの高齢化・重度化「親なき
あと みすえつつ しょうがい ひと ちいき せいかつ しえん じゅうじつ ちいきせいかつ
後」も見据えつつ、障害のある人たちの地域での生活の支援をさらに充実していくための「地域生活
しえんきよてん せいび すす かくけん し まち ちいき み あ ちいきせいかつしえん
支援拠点の整備」が進められており、各県・市（町）ではそれぞれの地域に見合った「地域生活支援
きよてん せいび けんとう おも
拠点の整備」が検討されているところだと思えます。

かすがし だい4きかすがししょう ふくしけいかく ちいきせいかつしえんきよてんせいび もりこ
春日市でも、第4期春日市障がい福祉計画にこの「地域生活支援拠点整備」が盛り込まれていま
すが、はるかぜ福祉会では、春日市の応援を受けて「地域生活支援拠点の整備」に着手し、昨年秋に
しせつけんせつ ふみだしました
施設建設に踏みだしました。

のち4がつ4にち まんかい さくら かげ ゆられ すこし ちって なか かすがしちょう ふくししえんぶちょう かすがし
その後4月4日、満開の桜が風に揺られ、少しずつ散っていく中、春日市長・福祉支援部長・春日市
ぎかいぎちょう まつがおかじ ちかいちょう らいひん おむかえ たんとうしょかん かんけいだんたい こうじかんけいしゃ かたがた20めい
議会議長・松ヶ丘自治会長を来賓にお迎えし、担当所管・関係団体・工事関係者の方々20名ほど
しゅっせき かんせい たきのうがたしせつ らくせいしき
にご出席いただき、完成した多機能型施設とグループホームの落成式をおこないました。



ちいきせいかつしえんきよてんじぎょう
地域生活支援拠点事業として、

この4月から しゅうろうけいぞくしえん日がたじぎょう ていいん
就労継続支援B型事業（定員20名）

たきのうがた せいかつかいご じりつくんれん じぎょう ていいん
多機能型（生活介護・自立訓練）事業（定員20名）

していとくていそうだんしえんじぎょう
指定特定相談支援事業

きょうどうせいかつえんじょ ぐるーぶほーむ じぎょう
共同生活援助（グループホーム）事業がスタートしました。

6がつ きょたくかいごじぎょう はじ がつ たんきにゅうしょじぎょう はじ
そして、6月から居宅介護事業が始まり、7月から短期入所事業が始まります。

じぎょう してい うけ にちゅうかつどう しえん せいかつしえん じぎょう はじまった い
建物が建ち、事業の指定を受けて 日中 活動の支援と生活支援の事業が始まったとは言え、

そうだんしえんたいせいほか ていきょうないよう じゅうぶん
相談支援体制他サービスの提供内容はまだ十分とは

い かすがし いま
言えません。まずは、春日市に今までになかった、

しょうがい ひと おや みす あたらしいきよてん
障害のある人の「親なきあと」を見据えた新しい拠点を

たちあげ せいび すすめきのう きょうか
立ち上げ、これから整備を進め機能を強化していきます。

